

# 新居浜市健康都市づくり推進協議会 会議録

日 時：平成28年7月1日（金曜日）13：00～13：45

場 所：保健センター3階 大会議室

出席者：中山会長・加藤正隆委員・加藤智彦委員・村山委員・秦委員・明石委員・柴田委員・  
續木委員・仙波委員・藤田恭子委員・松木委員・山崎委員・頼木委員・田中委員・  
原委員・岡部委員・白石委員

欠席者：近藤委員、高橋委員、藤田一十百委員、森田委員

事務局：木戸・宮崎・近藤・堀・岡部・山内・岩崎・黒川・岡

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>本日はお忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。定刻がまいましたので、ただ今から、「新居浜市健康都市づくり推進協議会」を開催いたします。</p> <p>本協議会は「新居浜市審議会等の公開に関する要綱」に基づき傍聴席を設けております。本日の傍聴者はいらっしゃいません。</p> <p>会に先立ちまして、新居浜市副市長より御挨拶を申し上げます。</p>   |
| 副市長 | <p>みなさん、こんにちは。</p> <p>本日は、大変お忙しい中、「平成28年度新居浜市健康都市づくり推進協議会」に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、平素から新居浜市の保健福祉事業の推進につきまして、御理解、御協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、皆様御承知のように、人口の減少と共に少子高齢化、経済の低成長など本市を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、地域の課題に適確に対応した個性あふれるまちづくりの推進が求められています。新居浜市としては、昨年12月新居浜市の人口ビジョンとその実現に向けての事業や具体的施策を示す新居浜市の総合戦略を策定致しました。人口ビジョンでは4つのまちの将来像を示しており、そのうちの一つが元気で長生きを叶える健康都市づくりです。本市では第2次元気プラン新居浜21に基づいた様々な健康づくりの取り組みを推進し健康寿命の延伸を目指しておりますが、その鍵となるのが健康的な食生活と運動習慣を継続できるような仕組み、生きがいの仕組みづくりであると考えております。また、健康への無関心層をターゲットとした施策も必要になると考えています。今後は一人ひとりの健康づくりの取組や行政の取組だけでなく社会全体で支えることにより新居浜市を健康なまちにすることが大切であると考えております。</p> <p>委員の皆様にはこれまで以上に御指導、御協力頂きたいとお願い申し上げます。本日はよろしくお願いたします。</p> |
| 事務局 | <p>ありがとうございました。</p> <p>ここで、副市長は公務のため退席させていただきます。</p> <p>続きまして、委員の皆様ですが、今年度新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、名簿の順で自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>(自己紹介)</p>   |

|      |   |
|------|---|
| 事務局  | <p>ありがとうございました。</p> <p>なお、本日は、近藤委員、森田委員は欠席の連絡を頂いております。</p> <p>それでは、お手元の会次第にそって、進めさせていただきますので、よろしく申し上げます。</p> <p>新居浜市健康都市づくり推進協議会設置要領第4条に基づきまして、会長、副会長の選出をお願いいたします。</p>  |
| 秦委員  | 事務局に一任します。  |
| 事務局  | <p>事務局では会長に医師会長の中山委員、副会長に福祉部長の岡部委員にお願いしたいと考えておりますがよろしいでしょうか。</p> <p>(拍手)</p> <p>会長は中山委員、副会長は岡部委員に決定いたしました。</p> <p>それでは、中山会長就任の御挨拶をお願いいたします。</p>   |
| 中山会長 | <p>改めまして新居浜市医師会の中山です。</p> <p>健康都市づくりということで、行政のビジョンを受けて行っておりますが、それを支える我々医療サイドは、市民の健康、安心安全を守るために、健康でいなければなりません。市民の方にはがん検診を含め様々なことに前向きに取り組むようサポートしていくので、新居浜市が長寿のまちになるように、皆さんと一緒に頑張りたいと思います。</p>  |
| 事務局  | <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これからの進行は要領第5条の規定によりまして、中山会長にお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。</p>  |
| 中山会長 | <p>それではただ今より、お手元の会次第にそって、議事を進めて参りたいと思います。</p> <p>まず、議題(1)平成27年度事業実績及び平成28年度事業計画について、事務局から説明をお願いします。</p>   |
| 事務局  | <p>平成27年度実績及び平成28年度保健センター事業計画について、説明いたします。</p> <p>まず、母子保健事業についてです。</p> <p>新居浜市では、妊娠期を健やかに過ごし、母子ともに健康な出産・育児が行えるよう、母子保健事業を展開しております。妊産婦に対しましては、母子健康手帳の交付から始まり、妊婦一般健康診査、妊婦歯科健康診査等を実施し、安全な出産に向けた健康管理に努め、妊娠期からの母子支援に取り組んでいます。</p> <p>出生後は、早い時期から訪問し、母親が孤立せず、不安なく自信をもって子育てできるように、必要に応じて子育て支援課と連携し、家庭訪問をしています。乳児一般健康診査や5か月乳児相談、1歳6か月及び3歳児健診などを実施し、発育や発達などの健康状態や保護者の養育状況等を把握し、健康問題や育児不安などの相談を行い、乳幼児の健全な発育発達を支援しています。</p> |

それから、地域の中で子育て家庭を見守っていくために、民生児童委員や主任児童委員と連携して、子育てネットワーク事業も実施しております。

また、1歳6か月児健康診査等において、発育や発達でフォローが必要な乳幼児家庭には、家庭訪問のほか、フォローアップ教室や発達相談などで継続的に支援し、子ども発達支援センターや療育機関などと連携を図りながら、適切な支援に繋げています。

幼児の虫歯予防としては、3歳児健診における虫歯保有率が高いことから、概ね1歳9か月から3歳未満を対象に、平成26年度は協働事業として委託して実施し、昨年度からは市の事業として実施しています。

お手元の資料の4ページを御覧ください。資料の右端は、平成27年度実績、その隣の実施予定回数は平成28年度の事業計画回数となっています。

平成27年度の実績は表のとおりでございます。

少子化対策の一環として、不妊に悩む人に対して、経済的負担の軽減を図るために、これまで実施していた特定不妊治療費助成事業に加えて、昨年度から愛媛県内では初となる一般不妊治療費助成事業を開始し、昨年度の申請者は27件でした。

今年度の変更点としましては、一般不妊治療費助成事業の対象年齢を43歳未満に引き上げ、特定不妊治療費助成事業では、男性不妊治療も対象とすることや、年度による申請回数などの見直しを行いました。

中段の妊婦歯科健康診査については、妊婦の歯周疾患の早期発見や予防に努めることで、早産や低体重児を減少させ、生涯を通じた口腔衛生管理へと繋げるため、平成25年度から開始した事業で、平成27年度の受診率は44.5%と、目標にしていた50%には届きませんでした。年々少しずつ上がってきていますので、引き続き取り組んでいきたいと思っています。

次に、成人期の健康支援の取組についてです。

成人期の保健事業については、主に健康増進法に基づき、健診、健康相談・健康教育、ウォーキングや食育、禁煙推進、健康づくりポイント事業などがあります。

資料のP6をご覧ください。

3段目の成人歯周病検診ですが、生涯を通じて自分の歯で美味しく食べて、健康な生活を送るためには、「8020」80歳で20本の歯を持つことができることを目指して、40歳から70歳までを対象に実施していましたが、今年度から30歳から70歳までに対象年齢を拡大して行います。

昨年度は、例年の周知方法に加えて、節目年齢の方約4,500人にハガキを発送し、受診啓発を行ったこともあり、1,028人が受診され、前年度の1.2倍に増えました。

次に、がん検診ですが、保健センターや各公民館において実施する集団健診と、乳がん・子宮頸がんのクーポン券対象者については医療機関での個別検診を実施しています。

がん検診の取組については、後で詳しくご説明いたします。

下から2段目の若年者健康診査については、これまで若い男性が気軽に受けられる健診の機会がなかったことで、若い世代からの生活習慣病予防ということで、今年度から新規で始まります。

次に資料P7をご覧ください。健康相談は、18校区の文化祭や保健セン

ターでの健康相談、出前講座等で行いました。

次の健康教育では、高血圧症や糖代謝異常予防教室、医師講演会などを実施しました。今年度は、精密な体組成計を購入いたしまして、体脂肪量や筋肉量が、体幹部と両手足の5か所に分かれて測定でき、自分の体のバランスを知ることができます。出前講座などの依頼をいただきましたら、お伺いすることもできますので、御検討いただけたら嬉しいです。出口のところに設置していますので御覧ください。

また、禁煙推進としましては、母子から高齢者に至るまで、あらゆる機会をとらえて禁煙啓発を行っています。禁煙週間には、ロビー展や禁煙のぼり旗を設置し、広く市民への啓発に取り組みました。5月29日、日曜日には、新居浜市では初めての「第16回全国禁煙推進研究会」が盛大に行われました。

またこれに先駆けて、各中学校の全校生徒に将来に渡って、喫煙しないように、喫煙防止教育冊子「たばこってな〜に？」を3500冊近く配布致しました。漫画形式で読みやすいものになっていますので、ぜひ御覧ください。

次に、がん検診についてですが、昨年度の実績は資料P6のとおりでございます。

がん検診の受診率は、国のがん対策では50%を目標としており、新居浜市でも様々な受診率向上に取り組んでまいりましたが、目標は達成できていない状況です。

そこでがんの早期発見・治療によりがんによる死亡を減らすために、一人でも多くの方にがん検診を受けていただくよう、平成27年度から各がん検診と肝炎ウイルス検診の個人負担金を無料にして、市民が受けやすい体制にしました。

また、節目年令の人に往復はがきで受診勧奨し、返信はがきによる申込みの受付や、また、泉川校区をモデル地域として、自治会回覧による申込みなどを実施しました。

このグラフは平成26年度と平成27年度の集団検診受診者数の比較を表したものです。肝炎ウイルス検査は6.7倍に、前立腺がん検診は3.2倍に、全体では、前年の2倍の受診者数となっています。

今後も効果的な受診啓発に取り組み、がんの早期発見・早期治療に繋げていきたいと考えています。

次に、平成28年3月末の状況ですが、平成27年度の各がん検診受診者で精密検査が必要となった人を100とした場合、精密検査を受診した人が青、まだ受けていない人が赤のグラフになっています。

精密検査を受けた結果、がんが発見された人は、乳がんが5人、大腸がんが4人等、合計17人見つかりました。肝炎ウイルス検査、前立腺がん検診、大腸がん検診については精密検査が必要となった人の6~7割以上の方がまだ受けておらず、この中にもがんが隠れていることも考えられます。

現在日本では、2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで死亡すると言われています。しかし、がんは早期発見すれば、かなり高い確率で治ります。

ぜひ年に1度はがん検診を受け、精密検査が必要となった場合は必ず病院を受診するよう、啓発をお願いいたします。

次に、食育推進についてです。

食育推進計画では、「元気つくろう！食力（食事から）」をスローガンに、重点目標として、「食のバランスを整える」「正しい生活習慣を身につける」「食文化を継承し、食環境を整備する」と3つの目標を設定し、食育を推進しています。

大きく4つの事業に分かれておまして、一つ目に生活改善地区組織活動として、秦会長を中心とした新居浜市食生活改善推進協議会の御協力を得て、親と子の料理教室、女性健診後の食育教室、地区栄養実習、リーダー研修会等を実施しています。二つ目に、食生活改善推進員教育事業として、ボランティアの育成をしています。三つ目に、食育推進事業として、食事バランスアップ事業、子育てママ応援食育推進事業、食育推進リーフレット配布等を行い、四つ目に、減塩推進事業を実施しています。

実績につきましては、資料P8・9をご参照ください。

あと、感染症対策事業については資料P9をご覧ください。

下から3段目の乳幼児予防接種として、今年の10月からB型肝炎予防接種が定期接種になる予定です。

続きまして資料P10の精神保健事業については、特に変更ありません。

医療対策事業については、休日夜間急患センターの日曜日の夜間の診療について、4月から小児科の診療を開始いたしました。

また、今年度医師会との協働事業により、救急医療について啓発DVDを作成する予定となっています。

健康都市づくり推進員活動につきまして、資料P12を御覧ください。

目的としては、「誰もが健康で、生きがいと安心感のある暮らしの実現を目指して自分の健康は自分でつくるという市民のセルフケア意識の高揚をはかり、地域みんなで支え合い住民主体の健康づくりを推進する。」となっており、推進員には地域の健康リーダーとして、「第2次元気プラン新居浜21」に基づく健康づくり活動を展開していただいています。

現在の健康都市づくり推進員は、平成27年7月からの2年任期で、73名の方に委嘱し、月に1回研修会を実施しています。昨年7月以降の研修会の内容はスライドのとおりで、ウォーキング推進事業の企画、運営をメインに行いました。

今年度の活動計画については、資料P13のとおりです。

次に、健康都市づくり推進員の地域での活動内容として、地域の方に、健診の受診勧奨や健康づくりポイント事業などの健康づくりに関する情報発信をしていただいたり、ウォーキング推進事業へのお誘い、また出前講座や地域での自主グループ活動の中でいはまげんき体操の指導等を担っていただいています。

昨年度は延べ477回、7,908人の市民に広く健康づくりを広めていただきました。

次に、ウォーキング推進事業についてですが、市民全体に健康づくりを啓発するシンボリックな事業として、だれでも気軽に取り組めるウォーキングの普及、定着を図ることを目的としてウォーキングマップを活用して市民のみなさんへウォーキングを広めることをめざしています。ウォーキング推進事業は昨年度新規の事業で、健康都市づくり推進員が中心となって実施してい

|      |   |
|------|---|
|      | <p>ます。</p> <p>資料P 8をご覧ください。</p> <p>平成26年度までは毎年1回、11月23日に「いきいき健康ウォーキング大会」と称して、実施していましたが、昨年度は、年間7回10コースを計画し、雨天だった1回を除く、6回9コースで実施し、一般の方が延べ522人、推進員が延べ123人、合計645人に参加していただきました。</p> <p>今年度は、年間9回、10コースを予定しています。</p> <p>また、4月3日にスポーツ文化課主催で行われた「市民歩け歩け大会」において、準備体操としてにはまげんき体操を取り入れていただき、推進員による指導を行いました。</p> <p>今後も各課所などとも情報共有して、市民にとって有意義なウォーキング推進事業になるよう、取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>以上です。</p> |
| 中山会長 | <p>ただいまの説明につきまして、何か御質問・御意見はございませんか。</p>   |
| 秦委員  | <p>3点ほどお伺いしたいと思います。まず1点目ですが、女性の乳がん・子宮頸がんが増える傾向にあると言われたのですが、新居浜市はどの程度ですか。そして2点目ですが、少子高齢化と言われておりますが、新居浜市の出生率は年々どうなっているのかということ。3点目ですが8020運動をしていますが、新居浜市では80歳で20本の健康な歯を持っている人は何人ぐらいいるのか、大変気になってるので、わかれば教えてください。</p>   |
| 中山会長 | <p>ありがとうございました。以上3点の御質問ですが、事務局で回答をお願いいたします。</p>   |
| 事務局  | <p>新居浜市の平成25年度における死亡数のデータによると、乳がんによるものが女性19人、男性1人でした。子宮頸がんによるものが女性5名でした。</p> <p>次に8020運動についてですが、健康な歯を有する人の数はわかっていないのですが、8020運動を知っているかというデータによりますと、50歳代では53.4%、60歳代の方は40.2%の方が知っているということが分かっております。また、60歳で24本歯を保有している方は平成23年度の成人歯科検診の結果71.4%になっております。</p>   |
| 事務局  | <p>続きまして母子関係に移ります。出生数は平成27年度1,003名で年々減少傾向になっております。以前は1,200～1,300名程の出生数がありましたので、少子高齢化が進んでいる状況です。</p>   |
| 中山会長 | <p>合計特殊出生率について、新居浜市は1.8で、県下で一番良い数字となっています。</p>  |
| 中山会長 | <p>では、続きまして健康づくりポイント事業の効果的な周知啓発について、事務局から説明をお願いします。</p>   |

事務局

お手元にお配りしておりますパンフレットを御覧ください。

この事業は、市民の健康づくりに関する関心を高め、意識改革を推進するための動機づけになるよう、日々の運動や、野菜の摂取、禁煙などの生活習慣に関する取組や、健診の受診、健康講座への参加等、健康づくりに関する取組をポイント化し、ポイントに応じて、運動施設などの利用券や図書カードと交換したり、また、社会貢献として小中学校等に「図書カード」として寄付することもできることとなっています。

事業の対象者は18歳以上の市民で、高校生は除きます。

申込みは、保健センターか市役所1階、国保課の窓口、メール又は郵送による申込みとしています。

この事業は、昨年10月から始まり、半年間で1,452人に手帳を発行しました。

性別で見ると、男性3割、女性7割。年代別で見ると60歳代が44%と最も多く、次いで70歳代が27%で、60歳代以上で73%を占めています。

今後、さらに若い世代での取組を広めていけるようにしていきたいと考えています。

また、愛媛医療生協などが実施している「ときめき健康チャレンジ」とも共同した取組になるよう、連携していきたいと考えています。

ポイント手帳を交付した場所は、保健センターが84%となっていますが、公民館などで実施したがん検診会場などでの発行も含んでいます。国保課での発行が15%、郵送やメールでの申込みが1%ありました。

次に申込者の職業についてです。

無職が910人、63%と最も多く、次いで会社員が218人、15%、自営業が78人、5%、公務員が53人、4%等となっています。

手帳発行時のアンケートによると、健康づくりに対して関心はありますか？という問いに対して、「大変関心がある」が786人、54%、「少し関心がある」が637人、44%と、ほとんどの方が関心があるという方ですが、特に関心はないという方も28人いました。

続いて申込時の運動の頻度です。

1日30分以上運動をする頻度についての問いに対して「ほぼ毎日」が3割、「週4日以上」が17%、「週2～3日」が21%となっており、週2～3日以上運動している人は約7割で、週1日以下の人も3割おり、これをきっかけに、運動習慣が定着していく人が増えることを期待しています。

「運動を始める、あるいは、継続するために必要だと思うことは？」の問いに対して「時間・余暇」が627人と最も多く、次いで「一緒にする仲間」が501人、「運動のサークルや団体などの情報」、「運動施設の情報」、「家族の理解」などが比較的多かったです。

この事業で貯まったポイントの交換申請は、1月の1か月間に限定して、保健センターで手続することとなっていますので、発行時とその後の変化等、この事業の効果なども見ていきたいと考えています。

最後に、これまでの周知啓発の取組についてです。

このスライドは、お配りした資料の中には入っていませんが、昨年10月以降に周知啓発した主なものを掲載しています。

今年度は、働き盛りの世代にもどんどん広めていきたいと思っておりますので、効果的な普及啓発の仕方などについて、委員の皆様方の御意見を伺えた

|      |  |
|------|--|
|      | <p>らありがたいです。<br/>以上です。</p>   |
| 中山会長 | <p>ただいまの説明に関して、何か御質問や御意見はございませんか。</p>  |
| 秦委員  | <p>ポイント制度を始めたのは全国でも珍しく良い取組だと思います。今後も継続してほしいと思います。</p>  |
| 中山会長 | <p>その他御質問はありませんか。</p>  |
| 山崎委員 | <p>ポイント制度は面白いものでしたので、後ほど詳しく聞きたいと思います。しかし、先ほど言われていたとおり、若い方の参加が少ないので、スマートフォンを活用した取組も今後行っていくのか、それとも手帳のまま行っていくのかについて教えていただきたいです。</p>                           |
| 事務局  | <p>貴重な御意見ありがとうございました。<br/>昨年10月開始しております。まずは、ポイント手帳に御自身で記入していただく方法をとっておりますが、今後スマートフォンを活用したもの等につきましても、研究いたしまして検討していきたいと考えております。</p>                          |
| 山崎委員 | <p>全国的にも珍しく、非常にわかりやすい内容になっているので、やってみてほしいと思う人も多いのではないかと思います。また市の観光施設にもつながっていることから、健康という言葉ではありますが、業種の垣根を越えたつながりも生まれることは非常に参考になります。今後もポイント手帳を広めてほしいと思います。</p> |
| 中山会長 | <p>ありがとうございます。他にどなたか御意見等ありませんか。</p>  |
| 事務局  | <p>商工会議所では、中小企業や商店等で事業の取組の周知は、難しいでしょうか。</p>  |
| 仙波委員 | <p>例えば会報やホームページやフェイスブックによる周知は可能です。<br/>一人でも多くの市民にポイント事業のことを知ってもらうことで、健康で長生きできるまちづくりをしていけるように協力していきたいと思っております。</p>  |
| 中山会長 | <p>何か他に御質問等はありませんか。</p> <p>他に御意見が無いようですので以上をもちまして健康都市づくり推進協議会を閉会いたします。<br/>本日はどうもありがとうございました。</p>  |